

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

（市町村名：宇治市）

タイトル	自分らしく生涯健康でいきいきと暮らせるまちづくり
------	--------------------------

現状と課題

健康でいきいきと住み慣れた地域で自分らしく自立した生活を営むことができる地域社会の実現に向けて、日々の健康づくりや介護予防、生きがいづくりを推進し、要介護状態になることを予防、また、重度化防止の取組を進めている。

宇治市これからの高齢者の暮らしに関する調査において

「生きがいはありますか」の問いに「生きがいあり」と答えた人

	第6期（平成27～29年度）	第7期（平成30～令和2年度）
第1号被保険者	62.1%	58.7%

「健康状態はどうですか」の問いに概ね「よい」と答えた人

	第6期（平成27～29年度）	第7期（平成30～令和2年度）
第1号被保険者	79.5%	76.7%

会・グループへの参加数

「どのくらいの頻度で参加していますか」という問いに、いずれの会・グループにも「参加していない」と答えた人

	第6期（平成27～29年度）	第7期（平成30～令和2年度）
第1号被保険者（男性）	15.1%	24.9%
第1号被保険者（女性）	17.0%	23.4%

地域づくりへの参加意向（参加者）

「地域づくり活動に参加者として参加したいですか」という問いに、「参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」と答えた人

	第6期（平成27～29年度）	第7期（平成30～令和2年度）
第1号被保険者	60.5%	48.9%

第7期における具体的な取組

健康長寿を実現し、できるだけ介護を受けることなく自立した生活を送るために以下の重点施策に取り組む

- （1）健康増進・生活習慣病の予防
 - ・健康教育の推進
- （2）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進
 - ・生きがい・健康づくり活動の推進
- （3）介護予防・日常生活支援総合事業の充実及び推進
 - ・住民主体による支援を含めた多様なサービスの実施
 - ・一般介護予防事業の充実と地域の介護予防活動への支援

目標（事業内容、指標等）

介護予防・日常生活支援総合事業における見込み量をもとに、進捗管理を行う

	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)
訪問型サービス（第 1 号訪問事業）				
訪問介護相当サービス（人/年）	7,992	8,076	8,160	9,000
生活支援型訪問サービス（人/年）	1,200	1,800	2,400	7,800
住民主体型生活支援（人/年）	108	120	132	192
訪問型短期集中予防サービス（回/年）	300	360	420	600
訪問型サービス D（移動支援）（団体数/年）	3	4	5	10
通所型サービス（第 1 号通所事業）				
通所介護相当サービス（人/年）	4,680	4,920	5,160	6,360
短時間型通所サービス（人/年）	2,700	2,880	3,060	4,200
住民主体型通いの場活動支援（団体数/年）	6	7	9	14
通所型短期集中予防サービス（回/年）	132	220	220	308
介護予防ケアマネジメント（第 1 号介護予防支援事業）				
介護予防ケアマネジメント（人/年）	11,592	12,456	13,344	16,788
一般介護予防事業				
一般介護予防事業（人/年）	25,879	26,959	27,394	33,562

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・多様な主体による多様なサービスの提供体制の構築（新たな担い手養成・社会資源の開発等）が進んでいるか、介護予防・日常生活支援総合事業の見込み量をもとに進捗確認を行う。

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：宇治市）

年度	令和元年度（2019年度）
----	---------------

実施内容				
（１）健康増進・生活習慣病予防の推進				
事業内容	実績（平成30年度（2018年度））		実績（令和元年度（2019年度）見込み）	
	開催数	参加者延べ人数	開催数	参加者延べ人数
口コモ予防の教室	11回	196人	10回	151人
高血圧予防の教室	4回	50人	4回	56人
出前講座	27回	577人	6回	191人
<ul style="list-style-type: none"> ・健康教室・健康相談の開催や、保健師等を派遣し、地域における健康教育の普及啓発促進に取り組んだ。 ・健康講座を開催し、介護を受けることなく自立した生活のために必要な栄養や運動面での生活の工夫等について普及啓発促進に取り組んだ。 ・市内の健康づくり・食育に関する地区組織活動を支援し、ネットワーク化することで、健康づくり・食育に関心を高める普及啓発促進に取り組んだ。 				
（２）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進				
<ul style="list-style-type: none"> ・生きがい・健康づくりとして、健康長寿サポーター（以下、サポーター）を養成し、住民主体の通所型サービスB（以下、通所B）の他、地域活動とのマッチングに取り組むとともに、活動立ち上げにあたっての後方支援を行った。 ・サポーターを対象に、市主催イベント（健康長寿フェス）の主催者側として支援協力を求め、主体的な活動に結び付いた。 				
（３）介護予防・日常生活支援総合事業の充実及び推進				
<ul style="list-style-type: none"> ・通所Bの新規開設（2団体） ・サポーター及び地域包括支援センターと意見交換を行うなど、訪問Bの制度構築に向けて検討した。 ・通所Bの立ち上げ支援助成金の交付を行い、通所Bの立ち上げ支援を行った。 ・多様なメディア（リビング京都、PV作成、YouTube公開）を活用し、通所Bの活動を紹介した。 ・移動支援を検討されている地域と訪問Dの取組について、実現可能かを含め検討した。 				

自己評価結果

介護予防・日常生活支援総合事業の実施 【 】

	平成 30 年度（2018 年度）		令和元年度（2019 年度）	
	計画値	実績	計画値	実績見込み
訪問型サービス（第 1 号訪問事業）				
訪問介護相当サービス（人/年）	7,992	6,718	8,076	6,732
生活支援型訪問サービス（人/年）	1,200	947	1,800	892
住民主体型生活支援（人/年）	108	0	120	0
訪問型短期集中予防サービス（回/年）	300	51	360	48
訪問型サービス D（移動支援）（団体数/年）	3	0	4	0
通所型サービス（第 1 号通所事業）				
通所介護相当サービス（人/年）	4,680	5,485	4,920	4,595
短時間型通所サービス（人/年）	2,700	3,442	2,880	3,631
住民主体型通いの場活動支援（団体数/年）	6	4	7	6
通所型短期集中予防サービス（回/年）	132	80	220	72
介護予防ケアマネジメント（第 1 号介護予防支援事業）				
介護予防ケアマネジメント（人/年）	11,592	9,916	12,456	9,019
一般介護予防事業				
一般介護予防事業（人/年）	25,879	42,248	26,959	41,110

課題と対応策

（ 1 ）健康増進・生活習慣病予防の推進

・介護予防事業と健康教育事業の教室内容に重なっているところがあるが、高齢者の健康事業と介護予防事業の一体的な実施に向けて、実施形態や内容について見直す必要がある。

（ 2 ）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進

・サポーターが活動に結び付いていない。昨年度と比較しサポーターの養成人数は増加（ 28 人 昨年度 13 人）したが、活動に結び付いていないサポーターも多い。丁寧なヒアリング等による既存の取組へのマッチングが課題。

・地域住民の意識の醸成と活躍の場の提供を並行して行っていく。

（ 3 ）介護予防・日常生活支援総合事業の充実及び推進

・地域の住民主体の介護予防や健康づくりの取組を一層推進していく必要がある。
 ・多様な主体によるサービス提供体制を整えてきたが、想定していたように利用が進んでいない。事業対象者等の利用意向や実態把握を行い、課題を抽出し検討を進める必要がある。
 ・居宅介護支援事業所に対し多様なサービスの理解を求め周知する。
 ・介護予防の通いの場にリハ職の派遣や運営費補助を実施し、住民の主体的な活動を促進する。

・介護予防教室のプログラムを改編し、介護予防教室参加者の自主グループ化を促す。